

「安心して生活・来訪できるまち」実現に向け進化するMaaS「おでかけこもの」



菰野町民・来訪者の移動利便性向上を目的に構築したオンデマンド乗合交通や菰野町MaaS「おでかけこもの」の利用者増加に向けて、キャッシュレス決済や車内混雑情報の配信等のサービスを追加導入する。また、新型コロナウイルス対策も視野に入れ、菰野町MaaS全体の更なる付加価値の向上を目指す。

協議会の構成員		【幹事】菰野町、(有)尾高、三重交通(株)、近畿日本鉄道(株)、御在所ロープウェイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県交通政策課、名古屋大学環境学研究科、(株)NTTドコモ東海支社	
地域課題		● コロナ禍における移動自粛やサービスの更なる機能向上の余地を背景として、交通不便地域の解消のために導入したオンデマンド乗合交通及び菰野町MaaS「おでかけこもの」の利用者数が伸び悩んでいること	
取組の概要	期間	2021年1月18日～2月28日	
	エリア	三重県菰野町全域	
	MaaSシステム	MaaS Webサイト「おでかけこもの」を独自に構築	
	交通サービス	菰野町MaaS「おでかけこもの」に以下サービスを付加し、機能向上を図る <ul style="list-style-type: none"> ● オンデマンド乗合交通「のりあいタクシー」に対応したルート検索機能 ● 「のりあいタクシー」予約時決済手段として、キャッシュレス決済（d払い）導入 ● バスロケーションシステム導入によるコミュニティバスのリアルタイムな位置情報の表示（三重交通のサイトへの遷移） 	
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス対策として、コミュニティバスの車内混雑情報の配信 ● コミュニティバス乗車時の顔認証と乗降情報のメール配信を通じた子どもみまもりシステムの実証 		
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ● キャッシュレス決済導入による利便性向上を通じたオンデマンド乗合交通の利用者数の増加の検証 ● コロナ禍における車内混雑表示を通じた安心感の醸成によるコミュニティバスの利用者数の増加の検証 ● 子ども見守りシステム実証を通じた顔認証を活用したサービスの有用性の検討 		
取組イメージ			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>のりあいタクシー対応ルート検索機能</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">オンデマンド乗合交通の運行エリアを拡大するとともに、経路検索サービスに対応を実現</p>			
<p>下記 3 施策を新たに実証した</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 顔認証による子ども見守りシステム ● コミュニティバス混雑情報を経路検索サービス上で表示 ● 「のりあいタクシー」にキャッシュレス（web）決済導入 			
検証結果			
<ul style="list-style-type: none"> ● 運行エリアの拡大、広報（利用案内の全戸配布、口コミ）の徹底、MaaS経由予約への料金施策（200円引き）を通じ、オンデマンド乗合交通の利用者数増加、予約システム利用率の増加を確認 ● 車内混雑度表示導入は、一定の安心感の醸成に繋がったが、コミュニティバスの利用者数増に繋がったかは一層の検証が必要 ● 顔認証は認証されるまでに時間を要したことなどから混雑時に認証せずに（認証できずに）下車した児童が多く、メールの配信が行われなかったケースが多々あったこともあり、顔認証は児童の47.5%が満足したとの回答にとどまり、みまもりメールは保護者の50.0%が物足りないとの回答であった。 			
今後の方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ● 菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性向上を図るため、機能の追加を実施する。次年度については、町内観光施設や観光用モビリティサービスとの連携を進める予定である。 			